

An Evening of Chamber Music

第6回 室内楽演奏会

A Route to  
シャコンヌへの道  
Chaconne

2010年 11月25日(木) 18時30分(18時開場)

Thursday, 25 November 2010, 6:30 pm (Doors open at 6 pm.)

東京大学教養学部 駒場コミュニケーションプラザ 北館2階 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

Program プログラム

T・バルツァー Thomas Baltzar (1631? – 1663)

プレリュード ト長調 Prelude in G major

「ジョン、来て、キスして」によるディヴィジョン ト長調

Division in G major on a ground "John, come kiss me now"

H・I・F・ビーバー Heinrich Ignaz Franz Biber (1644 – 1704)

パッサカリア ト短調 (「ロザリオのソナタ」より)

Passacaglia in g-Moll für Violine Solo aus den „Mysterien- (Rosenkranz-) sonaten“

G・P・テレマン Georg Philipp Telemann (1681 – 1767)

無伴奏ヴァイオリンのためのファンタジー 第1番 変ロ長調

Fantasia I für Violine ohne Bass in B-Dur

ラルゴ／アレグロ／グラヴェ／アレグロ

Largo/Allegro/Grave/Allegro

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685 – 1750)

無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 (ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラによる)

Suite I in G-Dur für Violoncello Solo, BWV1007 (Violoncello da Spalla)

プレリュード / アルマンド / クーラント / サラバンド / メヌエット I & II / ジーグ

Prélude/Allemande/Courante/Sarabande/Menuet I & II/Gigue

J・S・バッハ J. S. Bach

シャコンヌ 二短調 (無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より)

Ciaccona aus der Partita II in d-Moll für Violine Solo, BWV1004

ヴァイオリンと  
ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ:

寺神戸 亮

Violin and Violoncello da spalla:  
Terakado Ryo



©永田忠彦

■東京大学の学生・教職員、および駒場友の会会員・会友限定 ■入場無料 定員120名 全席自由

■事前に予約が必要です。受付開始11月1日(月)

■学生・教職員は、駒場博物館の窓口で学生証・教職員証を提示して、入場券をお受け取りください。

駒場友の会会員・会友は、駒場友の会ホームページ <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/> より予約をして下さい。

This concert is exclusive to students and staff of the University of Tokyo and members of the Friends of Komaba. Admission free. 120 seats available. Reservation is required. Applications accepted after November 1st. Students and faculty may obtain tickets by showing their university ID at the Komaba Museum reception desk. Friends of Komaba members may reserve tickets through our website <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/>.

主催：東京大学教養学部オルガン委員会 共催：駒場友の会

Organized by the Organ Committee, College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, in collaboration with the Friends of Komaba

## ■演奏者プロフィール

### 寺神戸 亮 (てらかどりょう)

1961年ボリヴィア生まれ。  
3歳よりヴァイオリンを始め、  
久保田良作氏に師事。  
桐朋学園大学音楽学部卒業。  
83年日本音楽コンクール、  
ヴァイオリン部門第3位。  
その後デン・ハーグ王立音楽院にて  
シギスヴァルト・クイケンの下で研鑽を積む。  
ヨーロッパを代表する古楽器  
アンサンブルやオーケストラの  
コンサートマスターを務めた。  
アンサンブル奏者、リーダーとして  
優れた資質を発揮し、  
またソリストとして数多くのオーケストラと  
協奏曲を共演。  
99年から2008年まで弦楽四重奏団  
「ミト・デラルコ」(水戸芸術館所属)の  
第1ヴァイオリン奏者として、古典派、  
初期ロマン派の弦楽四重奏を演奏した。  
他に独奏やアンサンブルで、  
初期バロックから後期ロマン派、  
印象派に至るまで、  
幅広い活動を行っている。  
06年からは最近復元された  
ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラを用いた  
演奏活動を精力的に行い、  
08年デンオン・アリアーレ・シリーズから  
J・S・バッハ《無伴奏チェロ組曲全曲》  
をリリース、レコードアカデミー賞を  
受賞し話題を呼んでいる。  
95年、第1回北とびあ国際音楽祭において、  
パーセルの《ダイドーとエネアス》で  
指揮者デビュー。  
以後、同音楽祭ではラモーなどの  
フランス・バロックとモーツァルトの作品を  
中心に公演し、日本で最もバロック・オペラに  
精通した貴重な存在として注目を集めている。  
デン・ハーグ王立音楽院教授、  
桐朋学園大学特任教授。  
ベルギー、ブリュッセル在住。

寺神戸亮オフィシャルホームページ

<http://www.lesboreades.info/RyoTerakado/>



## ■ご寄付のお願い

本演奏会は、オルガン委員会が駒場友の会の協力を得て開催するものです。学生以外の方には、当日会場にてご寄付を頂戴できましたら幸いです(一口1,000円、これ以上でも以下でも歓迎いたします)。どうぞご協力をお願いいたします。

問合せ先 | 駒場友の会 Tel: 03-3467-3536 E-mail: info-tomo@adm.c.u-tokyo.ac.jp